

チーム えがお



学校便り NO. 30
平成 30 年 11 月 9 日発行
北川小学校 校長室

《学校教育目標》 「自ら学び 心優しく たくましく生きる児童の育成」
「かしこく」自ら学ぶ子 「やさしく」心豊かな子 「たくましく」やりぬく子

盛りだくさんの内容の参観日！ ご参加ありがとうございました。



11月7日の授業参観は、全クラスで道徳の授業を見ていただきました。道徳は、児童一人一人が生きるうえで出会うであろうさまざまな問題や課題に対して、主体的に取り組む学習です。子どもが常に自己の生き方を見つめながら、みんなで多様な視点から話し合うことを通してよりよい生き方を考えていくことを大切にしています。

PTA人権教育研修会では、「ふりかえろう・・・子どもとの接し方」のテーマでワークショップを行いました。講師は昨年度に続き、「ほのぼの子育て『ほっとはあと』」の隅田先生です。「子どもを自立させていくには、小さいときから自己選択、自己決定させることが大切で、失敗したら一緒に考えてやればよい。そして、結果ではなく、がんばったプロセスをしっかり認めてやるとよい。」ということをお話いただきました。わきあいあいとした楽しい研修会になりました。



給食試食会に15名が参加されました。献立は、北川小学校希望献立の「パン、牛乳、ハンバーグ、ポテトサラダ、ユーンポタージュ、ミルメーク」で、ボリューム満点でおいしくいただきました。給食センターの栄養教諭の先生からは、「子どもたちは固いものを好まず、柔らかいものを好む傾向にあるので、ご飯やきんぴら、焼き魚などの残菜が多い事が悩みです。」というお話を聞きました。私たちの食生活の見直しも必要かなと感じました。

北川の「三つの宝」ってなあに？



11月5日の児童朝会で、北川公民館長の塩田美知江さんのお話を聞きました。北川には、「ふれあい水田」、「ふれあい芋畑」、「ふれあい花壇」があります。多くの地域の人のお力添えで出来上がったこの三つは北川の宝だと言われました。今、子どもたちが地域の人とのふれあいを楽しみながら豊かな体験活動を行うことができているのは、地域の人の子どもたちへの想いがあるからこそだと改めて感じました。この三つの宝を北川の自慢にしていきたいと思えます。

ちょっといい話！



オープンスクールに参加していただいた外部の方から、「子どもたちがよくあいさつをしてくれて気持ちがいいです。」とほめていただきました。最近、私自身もさわやかなあいさつをする子が増えてきたなあと感じています。